

6 持続可能な地域社会の構築と産業振興

健康づくりや人材確保への取り組みに加え、観光資源の発掘・発信、農業や漁業への支援を積極的に行います。

- 厚田・浜益区では地域自治区の設置期間満了を1年後に控え、両地域の意向に沿った市民主体のまちづくりを進めます。
- 石狩市過疎地域持続的発展市町村計画を改定し、活力ある地域づくりを推進します。
- 地域おこし協力隊や集落支援員の取り組みと特定地域づくり事業協同組合の事業を引き続き支援します。
- 民間活力により浜益区における移住者向け住宅の確保を図ります。
- 健診データを活用し、保健事業と介護予防を一体的に実施したり、健康測定会を開催するなど、予防や健康づくりの取り組みを推進します。
- 皮膚科医院の新規開業に係る助成制度を創設し、引き続き誘致活動を進めます。
- 深刻な企業の人材不足に対応するため労働環境の実態と動向を調査したり、外国人材の受け入れや若者の早期離職を防止するセミナーを開催します。
- 令和7年度中には入館者数300万人超えを見込む道の駅石狩「あいロード厚田」では、既存の観光資源のブラッシュアップに加え、新たな魅力を発掘し、デジタルマップやSNS

などで情報発信を引き続き行います。

地域の農業を持続させるための方針と、おおむね10年後を見据えた農地一筆ごとの耕作者を定めた石狩市地域計画を4月に策定します。

● 新たに農業を開始する方へ経済的・技術的に支援を行い、農業経営の安定化に努めます。

● 本市面積の7割以上を占める森林を守るため、計画に基づいた伐採・植栽・下刈り・間伐などを行い、その整備に必要な林道の開設や改良を実施します。

● 安全操業に欠かせない漁港の改修事業を支援するほか、漁業協同組合が実施する海水ろ過殺菌装置の設置を支援し、前浜で水揚げされる水産物の鮮度保持、価格維持、漁家の所得向上につなげます。

7 社会インフラの強化

道路や公園の整備、災害対策を強化するほか、消防・救急体制の充実を図ります。

● 札幌市と石狩湾新港地域を結ぶ花川通の延伸整備が完了し、その供用開始に向け、既存の市道部分の強化を引き続き進めます。

● 新たに花畔北8線の舗装工事に着手するほか、花川南地区の生活道路の舗装

整備を引き続き促進させ、宅地造成が進む緑苑台地区と札幌市北区を結ぶ新たなアクセス道路の調査設計を進めます。

● 紅葉山公園のリニューアル工事を継続して進めるほか、石狩ふれあいの杜公園のトイレ増設、若葉公園や樽川公園などの野球場に日よけ付きダッグアウトを整備するなど、公園の新たな魅力づくりを進めます。

● 昨年リニューアルオープンした厚田キャンプ場内を流れる牧佐内川の護岸の補修整備を行い、利用者がより安心して楽しめる環境を提供します。

● 冬期間の安定した道路環境を確保するため、車両を増強するなど持続可能な除排雪体制の構築を図ります。

● 上下水道は、地震などの自然災害における機能保持の観点も踏まえ、計画的に施設整備を行い、市民生活に不可欠なライフラインの強化を確実に進めます。

● 冬期の災害に備え、避難所運営に必要な備蓄資材の拡充をするほか、各種訓練を通じて地域防災力の向上に努めます。

● 花川南コミセンで非常用自家発電設備の機能強化を行うほか、アリーナなどに冷房設備を設置し、市民の利便性の向上と災害対策の強化を図ります。

● 石狩消防署厚田支署を改修し、樽川公園には耐震性防火水槽を新設するほか、高規格救急車に更新するなど消防力の充実に努めます。

おわりに

地方創生を実現するために協働・共創の視点によるまちづくりを進めてまいります。

市民の持つ価値観や地域の課題が多様化する中で、魅力ある地域づくりを進めることにより、誰もがそれぞれの幸せを感じられる社会を実現していくことが大切です。

行政は、サービスを提供するだけでなく、地域変革の担い手になる必要があります。複雑化・多様化する地域課題を解決するために、これまでは複数の主体がまちづくりに関する共通の目標を達成するため、それぞれの役割を果たしながら、相互に補完し協力をしてきました。まちづくりは協働を基本としつつ、複数の主体が知識や経験を融合させ、対話を重ね合いながら、新たな価値を共に創り上げ地域課題を解決していくことが必要です。

引き続き全力で市政運営に取り組みます。

令和7年度 教育行政執行方針

持続可能な社会を作っていくためには 教育は欠かせない基盤



石狩市教育長 佐々木隆哉

に、こどもたちが持続可能な社会の創り手として成長していくための大切な要素です。

- 児童生徒が主体となる授業改革
- AIドリルや協働学習ツールなどICTの有効活用
- 市の先進的取り組みや豊かな地域資源を活用した特色ある教育
- 一人一台端末の更新やネットワーク基盤の強化 など

学校・家庭・地域の連携・協働

家族形態の変化やライフスタイルの多様化、少子高齢化による地域社会の担い手不足などを背景として、学校・家庭・地域が連携・協働してこどもたちを育むことが求められています。

- スマートフォン依存改善のプログラム
- 地域学校協働活動における放課後学習支援

未来を切り拓く力の育成

確かな学力の育成は、本市学校教育の大きな課題であることも

学びを繋げる学校づくり

学習活動の基盤となる学校の施設を整備し、安全・安心な教育環境を作り出すことが教育活動に不可欠です。

- 小・中学校の普通教室などへの冷房設備の整備および中学校の実施設設計
- 幼児・学校教育の円滑な接続
- 教職員業務の校務DX推進
- 情報セキュリティの体制強化
- 部活動・地域移行・地域連携のあり方の検討
- 浜益学園の整備および経営方針や教育課程の編成 など

豊かな心と体の育成

多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会の構成員が幸せや豊かさを感じられるようになる主観的ウェルビーイングの向上を、教育を通じて図っていくことが求められます。

学ぶ機会の保障

- こどもの権利について学ぶ授業および教職員研修の実施
- 小・中学校におけるフッ化物洗口
- タブレット版図書検索システム、電子書籍の導入 など

こどもが抱える困難が多様化・複雑化する中で、誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の重要性が増しています。

- 医療的ケア児の受け入れ体制の整備
- 「通級指導教室」を新たに小学校3校に設置
- 「教育支援センター」「ふらっとくらぶ」の運営
- 校内教育支援センターを新たに小学校3校に設置 など

持続可能な地域社会づくり

生涯を通して学ぶことは、生活全体を豊かにし、充実感を得たり、社会的つながりやネットワークを

ふるさとをいしかりを学ぶ機会の充実

- 沖縄県恩納村文化情報センターとの周年記念イベントの開催 など

心豊かに暮らすことのできる地域社会を維持し、持続可能なまちづくりを進めていくため、いしかりの良さや魅力を知り、ふるさとへの誇りとふるさとを愛する心を育むことが大切です。

- 公民館、図書館、資料館などが連携した学習機会の提供
- 石狩油田をテーマにした「石狩叢書」第4巻の発刊
- 新たな市指定文化財の指定 など



▲教育行政執行方針全文

